

住人も元気！ 会社も元気！ 歴史と文化のまち 中大江

平成 24 年 10 月

中大江西地区まちづくり構想



目次

1 中大江西地区の現状とまちづくりの課題	1
1) 地区の概要	
2) 人口、世帯数	
3) 中大江西地区まちづくり研究会	
4) まちづくりの課題	
5) まちづくり構想の作成	
2 まちづくり活動の経過	4
3 まちづくりビジョンと5つの目標	6
4 4つのまちづくり行動計画	7
1) 安全で地域らしさの実感できるまちづくりをめざします。	
2) 新旧、世代間を超えた豊かなコミュニティを育みます。	
3) 安心して住みつづけられるよう暮らしを支援します。	
4) まちづくり目標を実現する持続可能な組織体制を築きます。	

中大江西地区まちづくり構想発行にあたって

戦災で焼土と化したこの地を、先輩達の尽力で大きな復興を見て60有余年。新しい時代の流れと共に、「私たちのまちを変えたい、自分たちのまちは自分たちで守ろう」をあい言葉に、2007年7月、大阪市の認定をいただき中大江西地区まちづくり研究会は発足いたしました。根づいた地域の文化を新しい住民にも伝えたい、また、防災・高齢者対策、町会員意識高揚などを課題に役員諸氏の奮闘で5年経過。

ここに構想発行のはこびとなりました。この後、益々当研究会が地域と共に発展することを念じます。

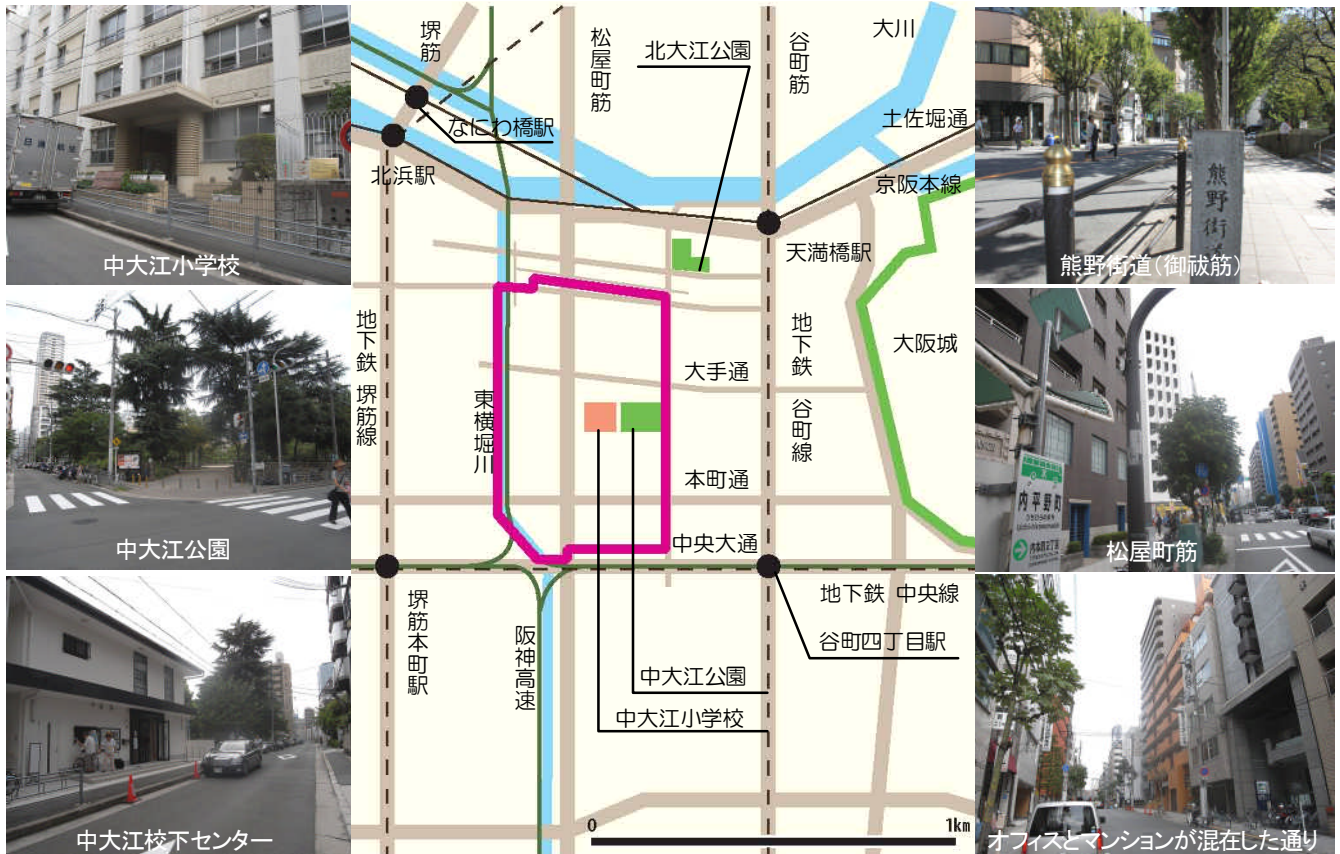
中大江西地区まちづくり研究会 会長 岡 庸祐

1 中大江西地区の現状とまちづくりの課題

1) 地区の概要

中大江西地区とは、大阪城天守閣の真西約1kmに位置する約26.1haの地域。大阪市中央区内平野町二、三丁目、内淡路町二、三丁目、大手通二、三丁目、糸屋町二丁目、南新町二丁目、徳井町二丁目、内本町二丁目、鑓屋町二丁目、常磐町二丁目、本町橋からなり、10町会からなる中大江西連合振興町会の区域です。

周囲には大阪市営地下鉄、京阪電鉄の天満橋駅、大阪市営地下鉄谷町四丁目駅、堺筋本町駅、北浜駅があり、利便性の高い立地で、全域が商業地域に指定されています。



まちのようすは、全域にわたり業務施設が多く、共同住宅、販売商業施設、宿泊施設が混在する住商の混在度の高いビジネス街といえます。松屋町筋沿道には大阪商工会議所とマイドームおおさかが立地することも特長で、西町奉行所、初代大阪府庁、府立大阪博物館、後に天王寺動物園に移転する動物園も併設した美術館と変遷してきた歴史的な場所です。また、本町通に面した中央消防署は、日本で初めて消防自動車配置されたことでも知られています。この地は、近世、戦前と大阪の重要な場所だったのです。

地区の中央には、中大江小学校と中大江公園（地区公園）が隣接し、公園内には中大江西地区まちづくり研究会の会合にも使われている集会施設「中大江校下センター」が立地する等、この一帯が地域活動の中心となっています。また、中大江公園東側に隣接する道路は熊野街道（御祓筋）で、大手通という町名からも連想されるように、かつては大阪城の城下町として町衆による自治が行われていた歴史豊かな地域で、冊子「催し・行事のご紹介」にあるように、テーマごと、季節ごとの多様な社会活動が行われています。



松屋町筋から見た、かつての府立実業会館と現在の大阪商工会議所
(左の写真は大阪商工会議所所蔵)

本町通から見た、かつての東消防署(明治44年)と現在の中央消防署
(左の写真は「東消防署の歴史」(平成元年、大阪市東消防署)より)

2) 人口、世帯数

平成 22 年国勢調査（速報値）による地区の人口、世帯数は、3,923 人、2,540 世帯、世帯人口は 1.54 人／世帯で、世帯人員は大阪市全体の 2.02 人／世帯より大幅に小さく、中央区全体と比べても小さくなっています。単身世帯が多く、ワンルームマンションなどが多いと想定されます。人口は平成 12 年比 50%増、世帯は 87%増と急激に人口、世帯が増えていて、マンション立地が大きな要因と想定されます。特に、人口増加率は平成 7 年から平成 12 年にかけては 5%未満であったことから、近年の急激な増加が見て取れます。

国勢調査 人口 世帯数	平成 7 年			平成 12 年			平成 17 年			平成 22 年※2		
	人口 人口 増減率	世帯 世帯 増減率	世帯 人口	人口 人口 増減率	世帯 世帯 増減率	世帯 人口	人口 人口 増減率	世帯 世帯 増減率	世帯 人口	人口 人口 増減率	世帯 世帯 増減率	世帯 人口
内平野町 2 丁目	296 -	170 -	1.74	334 12.8%	206 21.2%	1.62	425 27.2%	277 34.5%	1.53	486 14.4%	326 17.7%	1.49
内平野町 3 丁目	15 -	6 -	2.50	10 -33.3%	5 -16.7%	2.00	10 0.0%	5 0.0%	2.00	55 450.0%	39 680.0%	1.41
内淡路町 2 丁目	222 -	101 -	2.20	308 38.7%	176 74.3%	1.75	282 -8.4%	165 -6.3%	1.71	339 20.2%	200 21.2%	1.70
内淡路町 3 丁目	18 -	6 -	3.00	124 588.9%	55 816.7%	2.25	167 34.7%	115 109.1%	1.45	167 0.0%	111 -3.5%	1.50
大手通 2 丁目	274 -	128 -	2.14	257 -6.2%	127 -0.8%	2.02	303 17.9%	177 39.4%	1.71	380 25.4%	214 20.9%	1.78
大手通 3 丁目	155 -	59 -	2.63	156 0.6%	59 0.0%	2.64	175 12.2%	87 47.5%	2.01	187 6.9%	100 14.9%	1.87
糸屋町 2 丁目	183 -	68 -	2.69	125 -31.7%	58 -14.7%	2.16	164 31.2%	107 84.5%	1.53	168 2.4%	90 -15.9%	1.87
南新町 2 丁目	171 -	78 -	2.19	135 -21.1%	65 -16.7%	2.08	221 63.7%	156 140.0%	1.42	180 -18.6%	123 -21.2%	1.46
徳井町 2 丁目	163 -	108 -	1.51	155 -4.9%	108 0.0%	1.44	362 133.5%	292 170.4%	1.24	497 37.3%	383 31.2%	1.30
内本町 2 丁目	310 -	154 -	2.01	293 -5.5%	165 7.1%	1.78	282 -3.8%	166 0.6%	1.70	322 14.2%	216 30.1%	1.49
鎗屋町 2 丁目	115 -	40 -	2.88	107 -7.0%	48 20.0%	2.23	222 107.5%	180 275.0%	1.23	260 17.1%	195 8.3%	1.33
常盤町 2 丁目 ※1	117 -	42 -	2.79	124 6.0%	85 102.4%	1.46	284 129.0%	241 183.5%	1.18	365 28.5%	304 26.1%	1.20
本町橋	513 -	220 -	2.33	550 7.2%	260 18.2%	2.12	766 39.3%	498 91.5%	1.54	765 -0.1%	465 -6.6%	1.65
中大江西 地区 ※1	2,552 -	1,180 -	2.16	2,620 2.7%	1,360 15.3%	1.93	3,650 39.3%	2,466 81.3%	1.48	3,923 7.5%	2,540 3.0%	1.54
中央区	52,874 -	25,248 -	2.09	55,324 4.6%	29,205 15.7%	1.89	66,818 20.8%	40,419 38.4%	1.65	78,790 17.9%	49,036 21.3%	1.61
大阪市	2,602,421 -	1,105,351 -	2.35	2,598,774 -0.1%	1,169,621 5.8%	2.22	2,628,811 1.2%	1,245,012 6.4%	2.11	2,666,371 1.4%	1,317,196 5.8%	2.02
大阪府	8,797,268 -	3,270,397 -	2.69	8,805,081 0.1%	3,454,840 5.6%	2.55	8,817,166 0.1%	3,590,593 3.9%	2.46	8,862,896 0.5%	3,832,319 6.7%	2.31
全国	125,570,246 -	43,899,923 -	2.86	126,925,843 1.1%	46,782,383 6.6%	2.71	127,767,994 0.7%	49,062,530 4.9%	2.60	128,056,026 0.2%	51,951,513 5.9%	2.46

※1 常盤町 2 丁目の一部は中大江西地区ではなく、各町丁の合計値と地区の合計値とは一致しない、平成 7 年は各町丁の合計値を用いている ※2 平成 22 年は速報値

3) 中大江西地区まちづくり研究会

中大江西地区まちづくり研究会は大阪市まちづくり活動支援制度要綱にもとづく認定団体として、平成 19 年 7 月 31 日認定を受けました。同要綱第 4 条にあるように、「地域の実情に応じた住み良いまちづくり活動を推進することを目的」とした団体です。

構成員は、住民および事業者と土地または建物の所有者のうち、会の目的への賛同者です。毎月の定例役員会に出席する役員は、平成 24 年度現在 28 名で、町会長の他、各種団体の役員、事業者、マンション居住者、商業者など多彩なメンバーで、中央区役所など行政もオブザーバーとして参加しています。

4) まちづくりの課題

まちづくりとして取組むべき課題は、当初は、マンション急増に伴う新旧住民の交流。そして、毎月の定例会を重ねる中で、日常的な課題が各メンバーから提起され、徐々に抽出、体系化されていきました。大きくは、以下の 4 点に整理することができます。

(1) 新旧住民の交流

中大江西地区のまちづくりは、マンション急増に伴う人口増に対して、地域活動への参加や町会に加入しない住民の増加に対して、新旧住民の交流を進められないかということからはじまりました。

(2) 安全で安心できる環境づくり、地域づくり

オフィスビル、商業施設、住宅などが混在する中、地域のさまざまな場所での放置自転車が歩行者の安全面などで課題となりました。

また、マンション居住者との交流に向けて話しあいを進める中で、独居の高齢者など、緊急時に支援が必要な方の把握と支援対策が課題となりました。

(3) 地域の魅力向上

新旧住民の交流を進めるには、地域に魅力を感じてもらうことが大切で、歴史資源の掘り起こしや魅力の向上、美化、緑化などが効果的と考え、取組むこととなりました。

(4) まちづくり活動の体制強化

活動が活発化するにつれて、さまざまな課題に同時並行して取組むには、研究会のメンバーの増強と組織体制の強化が課題となりました。

5) まちづくり構想の作成

本まちづくり構想は、まちづくりの課題に対して、中大江西地区まちづくり研究会として取り組んだ経過と成果をとりまとめたものです。

構想の作成にあたっては、平成 23 年に中大江西地区全住民（世帯単位）を対象にアンケート調査を実施し、まちづくり目標と 3 つの行動計画への賛否と追加意見を中心に、暮らしの現状や研究会活動、地域活動の周知度、関心等をお伺いしました。アンケートは、配布数 1,500 に対して回収数 232（回収率 15.5%）と、回収率はやや低かったものの、熱心な記述回答が多く、まちづくり活動への期待感や具体的な意見、要望が多く得られました。特に、中大江校下盆踊り大会など地域活動はよく知られているにも関わらず、参加している方が少ないことが明らかになり、新旧住民の交流をテーマとして取組むまちづくり活動の課題とねらいが射ていることが確認でき、活動の緊急性も再認識されました。アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

2 まちづくり活動の経過

2007

- 2007. 7 中大江西地区まちづくり研究会 発足、認定
- 2007. 10 第1回役員会開催
- 2007. 10 ニュース vol.1 発行
- 2007. 11 中大江西／わがまちの歴史と誇り (1)
(大阪城天守閣館長 松尾先生 講演会)
- 2007. 12 中大江西まちづくり研究会のご案内 発行



2008

- 2008. 11 中大江西／わがまちの歴史と誇り (2)
(前大阪城天守閣館長 中村先生 講演会)

2009

- 2009. 1 視察 阿倍野防災センター
- 2009. 2 中大江西／わがまちの歴史と誇り (3) (前大阪城天守閣館長 中村先生 講演会)
- 2009. 5 第1回サイクルサポーター
- 2009. 6 くらしの便利マップ 発行



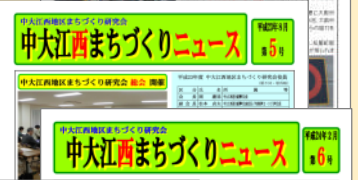
2010

- 2010. 2 視察 (人と未来防災センター、神戸市旧居留地)
- 2010. 3 ニュース vol.2 発行
- 2010. 4 まちあるきイベント
- 2010. 4 中大江西地区町歩きガイドマップ 発行
- 2010. 7 中大江西/勉強会 (桃園地域での高齢者支援)
- 2010. 8 中大江西/勉強会 (玉造地域のマンション住民交流)
- 2010. 8 ニュース vol.3 発行
- 2010. 10 あなたのまちの町会を紹介します! 発行



2011

- 2011. 2 ニュース vol.4 発行
- 2011. 2 視察 (京都 有隣学区)
- 2011. 3 大阪市中央区 わがまちガイドナビ vol.5
難波の発祥の地～大江地区「北大江・中大江編」
- 2011. 5 まちづくり構想に向けた住民アンケート
- 2011. 6 中大江西地区まちづくり建設ガイドライン 発行
- 2011. 6 命のカプセル・中大江西地区まちづくり建設ガイドライン 説明会
- 2011. 8 ニュース vol.5 発行
- 2011. 12 大阪市交通局 北浜駅町名標記要望書提出



2012

- 2012. 2 視察 (神戸 岡本、魚崎)
- 2012. 2 ニュース vol.6 発行
- 2012. 4 防災部会に向けた企業アンケート
- 2012. 6 防災部会 意見交換会
- 2012. 8 こんなのあるよ! 催し・行事のご紹介!
- 2012. 8 ニュース vol.7 発行
- 2012. 10 まちづくり構想 10月発行



歴史文化の伝統は「わがまちの誇り」
中大江西の生きた歴史を学ぶ

- ★大塚町奉行所跡に大塚城跡のまち
- ★新しい大塚町の発展があったまち
- ★アール・デコ・モダニズム建築で賑わったまち
- ★明治の名人・ファッション文化のまち
- ★明治の名人・ファッション文化のまち

わがまちの発展や歴史・文化を語り、まちの愛を育てよう!

●日時 **11月14日(水)午後7時～9時**

●会場 **中大江校下センター2階集會室**

●内容 講話「中大江西の生きた歴史と誇り」
講師：松岡朝樹先生(大塚城天守閣跡)
講演会後の懇話会(「わがまちの歴史と誇り」を語る)

●申込み 講演会参加費は、自由参加(お弁当の準備は各自で行います)

●お昼飯 無料

●対象 中大江西のまちづくり研究会 企業・関係者など

行動するまちづくり塾開講
中大江西の生きた歴史を学ぶ

第二回 我が町の歴史と誇り

講師：前大阪城天守閣館長 **中村博司先生**

11月8日(土)午後7時～9時
中大江校下センター2階

どなた様でもお気軽にお出かけ下さい

主催：中大江西地区まちづくり研究会
連絡先・岡 康祐 6941-328

中大江西地区まちづくり研究会主催の歴史セミナー
中大江西地区の生きた歴史を学ぶ!!

我が町の歴史と誇り

講師：前大阪城天守閣館長 **中村博司先生**

2月28日(土)午後7時～9時
中大江校下センター2階

参加費は無料! お気軽にどうぞ参加下さい!

中大江西地区まちづくり研究会
会 長 岡 康祐 6941-328
副 会 長 岡 康祐 6941-328
会 員 岡 康祐 6941-328
会 員 岡 康祐 6941-328

神戸/防災見学会と中華街の旅 2月14日(日)開催!

神戸/防災見学会(2月14日) 神戸/中華街の旅(2月14日)

申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会

中大江西地区のいろいろなお店
くらしの便利マップ
2009
お役立ち情報がいっぱい!

中大江西地区 町歩きガイドマップ

平成22年4月 中大江西地区まちづくり研究会

「これって、何?」(答えは町歩きせ!)
4月4日(日)午後1時開会 町歩き 申込書

申込書
氏名 _____ 性別 _____ 年齢 _____
〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____
電話番号 _____ 携帯番号 _____
Eメール _____

町会へお話ししよう!
あなたのまちの町会を紹介します!
みんなで進める私たちのまちづくり

中大江西地区まちづくり研究会主催のバス旅行!
京都/有隣学区まちづくり見学会と錦市場の旅
2月20日(日)開催!

申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会

老人世帯へのサポート体制構築のための勉強会開催!!

講師：桃瀬地域社会福祉協議会会長 **森 永道**
桃瀬地域ネットワーク委員会推進員 **小竹朝子**

開催日時：7月24日(土曜日) 午後6時30分
開催場所：中大江校下センター 2階集會室
中央区糸町町2-2-16 電話 6910-7986

中大江西地区 まちづくりアンケート

申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会

「命のケーブル」をご存知ですか?

家族住人票や医療情報の用紙に緊急連絡先や持病などの情報を記入してケーブルに入れ、冷蔵庫に入れて保管します。

中大江西地区内での建設にあたって
～中大江西地区まちづくりガイドライン～

中大江西地区 こんなにあるよ!
催し・行事のご紹介!
みんなで進める私たちのまちづくり

中大江西地区 防災部会 意見交換会のご案内

申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会

神戸/岡本・魚崎地区まちづくり見学会
2月19日(日)開催! 参加費無料!!

申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会
申込先：中大江西地区まちづくり研究会

3 まちづくりビジョンと5つの目標

あしたは...、これからは...、将来は...、地域がこうあってほしい。それが、まちの理想像＝「まちづくりビジョン」。中大江西地区では、まちづくりビジョンとより具体的なまちづくり目標を掲げます。
まちづくりビジョンは、まちづくりのキャッチフレーズです。皆さん覚えてください！

まちづくりビジョン

住人も元気！会社も元気！歴史と文化のまち中大江

5つのまちづくり目標

1. 笑顔のあるまち／歴史・文化と人がつながる＝どこでも Anywhere



地域の歴史や文化の感じられる環境の中で、あいさつや声かけを通じ、子どもからお年寄りまでの多世代と歴史と文化がつながるまちをめざします。そして、そのような環境のもと、一人ひとりがいきいきと健康で笑顔のある暮らしの実現できるまちをめざします。

2. 安全で安心できるまち／安全・安心に暮らせる＝いつでも Anytime



まちぐるみで防犯、防災に取り組み、いざという時にいつでも助けあえる安全・安心な関係を育むことのできるまちをめざします。



3. コミュニティゆたかなまち／地域コミュニティ＝だれでも Anyone



地域ぐるみで若い力や発想を活かすことができるよう、だれもが意見を交わすことのできる地域交流の場を設けます。そして、人と人のつながりや助け合いから中大江への愛着や誇り、豊かな心を育むことで、持続可能な地域交流をめざします。

4. 暮らしやすいまち／何でも話して解決できる絆をつくる＝なんでも Anything



買い物などの利便性の高さ、通院などの安心感、中大江公園や小学校、幼稚園、保育所など子どももお年寄りも暮らしやすい住環境や地域資産にみんなが関心を持ち、さまざまな情報を共有しながら、何でも話して解決できる暮らしやすいまち、住んでよかったと実感できるまちをめざします。

5. 美しいまち／環境・美化＝みんなが Everybody



中大江の歴史・文化資源と地域の絆を高齢者から子どもたちへ継承します。そして、みんなで新しい地域資源を発掘し、企業・行政とも連携しながら、自ら考え、取組む美しい環境づくりを通じて、愛着を持ち、訪れる人が感動するまちをめざします。

4 4つのまちづくり行動計画

まちづくりビジョンやまちづくり目標は、「歩いて来るもの」ではなく「歩いて行くもの」。そこで、まちづくりの歩む道を示す、4つの行動計画を定めました。

4つのまちづくり行動計画

- 1) 安全で地域らしさの実感できるまちづくりをめざします。
- 2) 新旧、世代間を超えた豊かなコミュニティを育みます。
- 3) 安心して住みつつけられるよう暮らしを支援します。
- 4) まちづくり目標を実現する持続可能な組織体制を築きます。

1) 安全で地域らしさの実感できるまちづくりをめざします。

(1) 放置自転車対策

① サイクルサポーター活動

放置自転車を減らし、安全で歩きやすい環境づくりをめざして、行政、警察、地域内の事業者の協力のもと、サイクルサポーターの活動を充実、継続します。



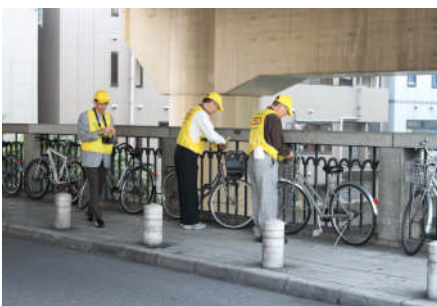
中大江小学校前に集合しルート確認



松屋町筋



松屋町筋と本町通の交差点



大手橋



ブロック塀横



結果と課題を確認し解散

② 駐輪場の整備

自転車利用の増加は環境や健康志向、帰宅困難者対策への関心の高まりでもあります。行政や民間事業者に駐輪場の適切な整備を求め、協力して取組みます。



谷町四丁目駅前に整備された駐輪場

③ レンタサイクル、サイクルシェア等

行政や事業者との連携のもと、必要な利用台数を確保しつつ、地域内の自転車台数を減らすため、レンタサイクルやサイクルシェアなどのしくみづくりを検討します。

(2) 地域の歴史、資源を活かしたまちづくり

① まちあるきマップの作成

「町歩きガイドマップ」の改訂、テーマごとの新たな散策マップの作成など、まちあるきマップづくりを進めます。



町歩きガイドマップ(裏面には歴史的資源などの情報を紹介)

② まちあるきイベントの開催

「町歩きガイドマップ」などのまちあるきマップを活用したまちあるきイベントを定期的に行います。



ガイドマップを利用したまちあるきイベント

中央区わがまちガイドナビ vol.5

③ 地域全体での統一ある景観づくり

電線の地中化や地域内の冬のイルミネーションの実施、飲食店への統一したバナーの設置など地域全体での統一感ある景観づくりに向け検討します。また、殺風景になりがちな建設工事時の仮囲いの統一やプランターの設置による楽しい景観づくりを検討します。

④ 親しみ豊かな通りづくりや、通り名、町名の由来を示したサイン等の設置

特徴的で親しみ豊かな通りづくりに向けて、街路樹や街灯、ストリートファニチャー、プランターなどの整備や由緒ある通り名や町名の由来を示したサインなどの設置、シンボルカラーの設定などを公募などでアイデアを募りながら検討します。

⑤ はみ出し看板や路上の植木等の撤去

行政の協力も得ながら、通行の妨げとなっているはみ出し看板や路上の植木などの撤去に取り組めます。また、賑わいや暮らしの営みの感じられる街並みとのバランスを考慮し、看板設置等の地域ルールづくりを検討します。



視察での街並み形成の研究(神戸市旧居留地、岡本地区、魚崎地区)

⑥ 清掃行事

まちの美化、緑化への関心を高め、みんなで取り組むためにも、清掃行事の実施を検討します。

(3) 地域の環境に配慮した建物の誘導

① 建設部会、中大江西地区まちづくり建設ガイドラインによる地域環境に配慮した建物誘導

町会加入の促進、事業者への案内、企業間交流、緑化誘導、低炭素化誘導、空地の有効活用など建設ガイドラインの周知徹底と土地建物所有者や建設事業者との話し合いによる地域環境に配慮した土地、建物活用を進めます。

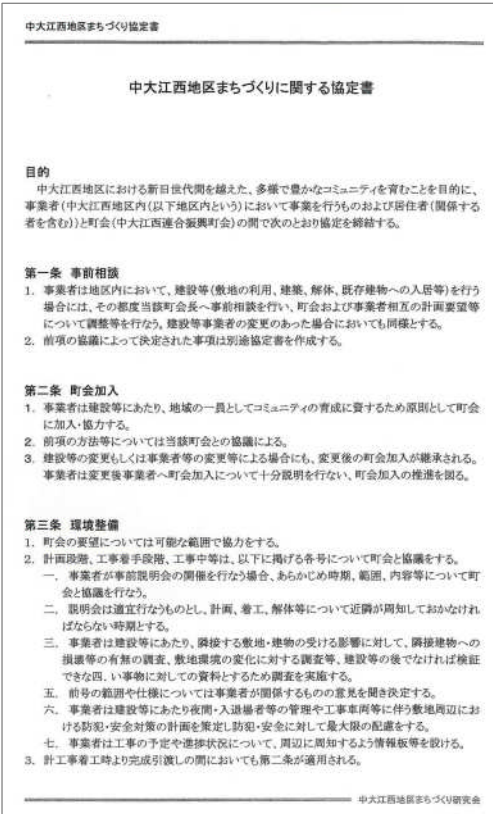


事前相談 町会加入の促進、事業者への案内、企業間交流、緑化誘導、低炭素化誘導、空地の有効活用など建設ガイドラインの周知徹底と土地建物所有者や建設事業者との話し合いによる地域環境に配慮した土地、建物活用を進めます。

町会加入 中大江西地区で協賛・賛助されることにより、建設部のコミュニティが育ちます。特に協賛にはさらなるコミュニティが育ちやすくなります。自費も必要とする一人暮らしの若年者や単身者などへの支援も建設部のコミュニティが、いざというときに若い世代の助けを借りることができ、そのために町会加入の協賛・賛助は大きな役割を果たします。また、この協賛費は特にマンションでの協賛加入への取り組みを支援しています。また、事業が完了した後は協賛費を返金して企業の協賛費の返金額をアポイントすることができます。

環境整備 事業計画では環境整備も重要なこととして、より良い環境づくりも必要です。事業計画に環境整備の項目を盛り込むことにより、環境整備の進捗の把握が容易になり、自然環境が整備されている。空室の購入も進み、度々も増え、など、距離だけでなく、周辺環境の整備も環境づくりの重要な要素です。また、コミュニティの環境整備は、環境づくりの重要な要素です。また、コミュニティの環境整備は、環境づくりの重要な要素です。また、コミュニティの環境整備は、環境づくりの重要な要素です。

まちづくり協力 建設部会、中大江西地区まちづくり建設ガイドラインによる地域環境に配慮した建物誘導



中大江西地区まちづくり協定書

中大江西地区まちづくりに関する協定書

目的
中大江西地区における新世代間を結ぶ、多様な豊かなコミュニティを育むことを目的に、事業者(中大江西地区内(以下地区内という)において事業を行うものおよび居住者(関係する者を含む))と町会(中大江西連合振興町会)の間で次のとおり協定を締結する。

第一条 事前相談
1. 事業者は地区内において、建設等(敷地の利用、建築、解体、既存建物への入居等)を行う場合には、その都度当該町会長へ事前相談を行い、町会および事業者相互の計画要望等について調整等を行ない、建設等事業者の変更のあった場合においても同様とする。
2. 前項の協議によって決定された事項は別途協定書を作成する。

第二条 町会加入
1. 事業者は地区内において、地域の一員としてコミュニティの育成に資するため原則として町会に加入し協力する。
2. 前項の方法等については当該町会との協議による。
3. 建設等の変更もしくは事業者等の変更等による場合にも、変更後の町会加入が継承される。事業者は変更後事業者へ町会加入について十分説明を行い、町会加入の推進を図る。

第三条 環境整備
1. 町会の要望については可能な範囲で協力する。
2. 計画段階、工事着手段階、工事中等は、以下に掲げる各号について町会と協議をする。
一、事業者が事前説明会の開催を行なう場合、あらかじめ時期、範囲、内容等について町会と協議を行う。
二、説明会は適宜行なうものとし、計画、着工、解体等について近隣が周知しておかなければならない時期とする。
三、事業者は建設等にあたり、隣接する敷地・建物への影響に対して、隣接建物への損傷等の有無の調査、敷地環境の変化に対する調査等、建設等の後でなければ検証できない、いざという事態に備えるための調査を実施する。
四、前号の範囲や仕様については事業者が関係するもの意見を聞き決定する。
五、事業者は建設等にあたり夜間・入居者等の管理や工事車両等に付帯敷地周辺における防犯・安全対策の計画を策定し防犯・安全に対して最大限の配慮をする。
六、事業者は工事の予定や進捗状況について、周辺に周知するよう情報板等を設置する。
七、計工工事着工より完成引渡しの間においても第二条が適用される。



建設部会の対応に関する図表

まちづくり建設ガイドライン(左)、協定書(中)、建設まちづくりカード(右上)、コンテナハウス設置問題箇所での建設部会の対応(右下)

(4) 安全で美しいまちづくり

① 安全な道づくり

事業所と住宅、学校が入り交じった都心環境を考慮し、歩車共存、歩輪分離、横断歩道など歩行者、自転車、車の適切な分離、安全確保に向けたあり方を検討します。

② 自転車マナーの向上

歩行者の安全確保と自転車のマナー向上に向けて、行政との連携のもと、周知、講習などに取り組みます。



小学校前の坂道と狭い歩道

2) 新旧、世代間を超えた豊かなコミュニティを育みます。

(1) 地域情報の周知

① 町会や地域情報の積極的な周知、案内

コミュニティ豊かな気運形成と地域への関心喚起をめざし、多様なツールを活用したくらしの便利マップ等地域情報の積極的な周知、案内に取組みます。また、コンビニエンスストアやスーパー等地域住民が立ち寄る施設でのポスター掲示やチラシ設置等の協力体制の充実化に取組みます。



くらしの便利マップ

② 掲示板の設置拡大

行政の協力による公道上への設置増強、マンションや事業所等の協力による民有地を活用した設置等、掲示板の設置拡大を進めます。特に、各町会1箇所以上の設置実現を早期にめざします。

③ ホームページ、ブログによる情報発信

地域内外の若年層が手軽に情報を得ることのできるホームページやブログ等 IT ツールを活用した情報発信が頻度高く行えるように、しくみや体制づくりを検討します。



なかもちふるぐ(中大江まちづくり)
<http://na-ka-ma.cocolog-nifty.com>

(2) 地域住民が気軽に参加できるまつりの開催

平成23年5月に行ったまちづくりアンケートでは、フリーマーケットやコンサート、子どもを対象としたイベントなど、地域で暮らす住民や企業の関係者が多様に交流できる取組みへの期待とアイデアが示されました。具体化に向けては、新旧、世代、子ども、高齢者、企業、外国人などのテーマと、展示、音楽、出し物など手法を定め取組むこととなりますが、何より、やりたい人が集まり、住民や関係者の賛同を広めながら楽しく取組むことが大切です。

具体化に向けては、コアメンバーが集まったテーマから、順次実行委員会を組織し、早期に実現するよう検討を進めます。

(3) コミュニティ豊かなマンションづくり

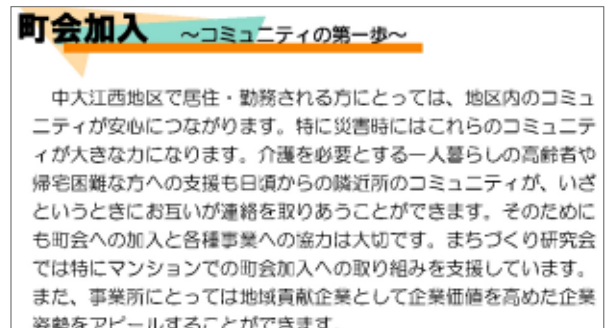
① マンション内イベントの実施支援

まちのコミュニティは、小さなコミュニティの集まりです。そのひとつの場として、各マンション内にコミュニティが育まれることは大切なこと。

研究会では、「マンション内でのイベント開催の相談」「各マンションでの小さなイベントの紹介や横のつながりづくり」などに取組み、マンション内イベントの支援を通じて、コミュニティの新たな担い手を発掘し、町会活動の活性化をめざします。

② 建設部会によるマンション建設時からのコミュニティ育成の取組み

建設当初のマンションは互いに知らない人どうしで、自発的なコミュニティ形成にはどうしても時間を要します。そこで、建設部会では、マンション建設時の町会加入をすすめ、地域行事などへの参加を通じて人と人とのつながりを育み、マンション内、マンションと地域のコミュニティ育成を進めます。



建設ガイドライン「町会加入」(上)
グランドメゾン大手通での町会加入に向けた話しあい(下)

③ 定住性の高いマンションの誘導

コミュニティ豊かなマンションづくりは、各マンションのひとり一人のコミュニティへの関心なくしては困難です。今後も新たな建設が予想されるマンションは、ファミリー層をターゲットとしたものなど定住意欲の高い入居者を想定したものとなるよう、事業主に要望していきます。また、望ましいマンションのあり方やその誘導方策については、ひきつづき検討を進めます。

一方、ファミリータイプのマンション供給を誘導するには、子育て環境の充実が不可欠です。土地利用転換、建物更新が進む中で、保育所の誘致など子育てしやすい環境づくりに向けた取組みを進めます。

④ 暴力団員や反社会的団体などの入居に関する規制への配慮

良好なコミュニティ形成を阻害する恐れのある暴力団員や反社会的団体などの入居に関する規制への配慮を、既存物件の所有者や新規建設物件の事業者に働きかけます。

(4) 町会加入の促進

① 町会活動、地域活動の紹介

町会とは何？町会加入のメリットは？との声にこたえるため、町会紹介冊子「あなたのまちの町会を紹介します！」を積極的に活用します。

また、活発だけれど、多様で複雑な地域活動をわかりやすく整理し、紹介するパンフレットを作成し、地域活動に気軽に参加する気運を高めます。



あなたのまちの町会を紹介します！

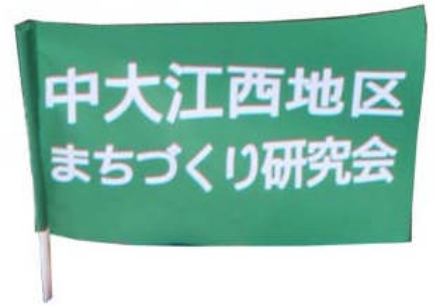
こんなにあるよ！催し・行事のご紹介！

② 建設部会、中大江西地区まちづくり建設ガイドラインによる町会加入促進

新たに建設されるマンションや事業所には、町会紹介冊子と建設ガイドラインを用いて、建設部会による町会加入を促進します。

(5) 中大江西地区のブランドイメージ形成と発信

町会加入や豊かなコミュニティづくりを進めるには、地域の魅力とともに、人をひきつける求心力が必要です。まちづくり目標の具体化に向けて地道に取組むこととあわせて、地域の誇りと絆、そして、まちづくりの気運向上に向けて、中大江西地区のブランドイメージを形成し、発信する戦略的な取組みのあり方を検討します。



3) 安心して住みつづけられるよう暮らしを支援します。

(1) 災害時の共助に向けたしくみと訓練の実施

① 災害時の共助に向けたしくみと訓練の実施

地震に加え、突発的なゲリラ豪雨などの予測困難な災害への備えが心配です。具体的なしくみづくりや訓練の実施に向けては、地域内の企業に呼びかけ、準備状況や課題を共有し、地域全体で知恵を出し合う体制づくりから取組みます。そして、検討体制が整った段階で、地域の現状を確認する「防災探検隊」などのイベントを絡めながら、気運を高めます。

訓練にあたっては、マンションに住む高齢者が増加している状況をふまえ、高層階からの徒歩での避難訓練など実践的な内容を企画、実施します。そして、マンションと地域、行政とも連携し、自助を啓発し、共助のしくみを考え、適切な公助が受けられるよう、各主体と協議し、実効性を高めます。

② 災害時帰宅困難者対策等企業と連携した防災まちづくり

大規模災害時の帰宅困難者対策に向けて、企業との協議を進めます。具体化に向けては、地域内の企業が集まった防災部会を中心に、企業の知恵と資源を共有し、防災対策という観点からそれらを一体的に運営し、育む体制としくみづくりを目標に、まずは、各自に自助を促すパンフレットづくりや企業と住民がともに行う避難訓練の実施などに向けて取組みを進めます。



防災部会 第1回意見交換会

(2) 高齢者、災害時要支援者の支援

① 家族住人票による高齢者、災害時要支援者のリスト

いざという時に備え、医療情報や緊急連絡先を持病などの情報を把握する家族住人票のさらなる把握、整理を進め、町会と研究会による二重の支援体制を継続します。

② 命のカプセル

緊急時に消防隊員などが活用するために、家族住人票などを入れた命のカプセルの配布をさらに進めます。窓口となる各町会で、少なくとも月1件配布し、参加者の輪を広げます。

③ 高齢者、災害時要支援者の情報の管理、支援体制

家族住人票の管理、更新を徹底するとともに、日常的な見守り体制、窓口を確保するため、各マンションの管理人を通じた情報把握など、多様なコミュニケーションルートづくりを進めます。

「もしもの時の家族住人票」・「命のカプセル」に関する運用規約



- この運用規約は、独居老人世帯・高齢者世帯などの緊急時要支援者に対する支援活動のひとつとして、震災・火災・災害・事故が発生した時、救急隊員や災害救援者、家族・親族への緊急連絡先や病歴の情報を提供して、適切な処置を受けられるようにするための「もしもの時の家族住人票」・「もしもの時の医療情報」を入れて保管する「命のカプセル」に関して必要な事項を定めたものです。
- 各町会の町会長は、対象者に別紙同意書「もしもの時の家族住人票」と「命のカプセル」運動にご協力をを配布して協力を求め、同意を得た対象者に「命のカプセル」ワンセット（「もしもの時の家族住人票」【カプセル用】・【提出用】・「もしもの時の医療情報」(世帯数に応じた枚数)・円筒容器・シール3枚・使い方・運用規約・【提出用】回収用封筒）を選し、使い方を説明して、「もしもの時の家族住人票」・「もしもの時の医療情報」への記入を依頼します。「もしもの時の家族住人票」は【カプセル用】と【提出用】の2枚セットです。
- 「命のカプセル」の使い方は次のとおりです。
 - 「もしもの時の家族住人票」【カプセル用】と「もしもの時の医療情報」を容器の中に入れ、蓋をします。
 - 容器の蓋の上に「命のカプセル」シール(1枚目)を貼り、冷蔵庫の中に保管します。
 - 冷蔵庫の中に「命のカプセル」が保管されていることがわかるように、冷蔵庫の扉に「命のカプセル」シール(2枚目)を貼ります。
 - 救急隊員や災害救援者が、「命のカプセル」運動に協力している世帯であることがわかるように、玄関扉の裏側(玄関扉を開けても外から直接見えない場所)に「命のカプセル」シール(3枚目)を貼ります。
 - 「もしもの時の家族住人票」・「もしもの時の医療情報」に記入した内容に変更が生じた時は、必ず町会長へ連絡して最新の内容に訂正します。
- 各町会の町会長は、記入が終わった「もしもの時の家族住人票」の【提出用】を提出用封筒に入れて回収し、1部複写して、町会長及び中大江西地区まちづくり研究会会長が1部ずつ保管・管理します。
尚、マンション住人を対象とする場合、町会長とマンション管理組合長が協議のうえ、適切な情報管理を行うことを条件に【提出用】のコピー1部を管理組合に提供することができます。
- 「もしもの時の家族住人票」の内容は、震災・火災・災害・事故が発生した時の災害救助・緊急連絡を要する場合で、消防・救急・警察に対してのみ活用し、それ以外は絶対に公表しません。

中央区マスコットキャラクター ゆめまるくん

Life capsule helps you in an emergency.

いのちのカプセル

震災・火災・災害・事故など、もしもの時に備えて、家族構成や緊急連絡先を記入する「家族住人票」、自分の現在の体調や病歴を記入する「医療情報」をカプセルに入れて、冷蔵庫の中に保管しましょう。

1



受け取った用紙とカプセルの内容を確認します。
「いのちのカプセル」の主旨と規約とについては、必ず目を通しておいてください。

同意書
運用規約
家族住人票
(提出用・カプセル用)
医療情報
(カプセル用)
シール
いのちのカプセル
使い方(この用紙)

..... 1枚
..... 1枚
..... 2枚
..... 1枚
..... 3枚
..... 1個
..... 1枚

2



規約を読み「いのちのカプセル」に同意していただきましたら、家族住人票と医療情報の各項目をご記入ください。

3



家族住人票のカプセル用と医療情報をカプセルに入れて、カプセルのフタにシールを貼ります。

4



冷蔵庫の扉にシールを貼り、カプセルを中に入れておきます。冷蔵庫はたいていの家庭に必ずあって、災害時に家中のモノがバラバラになっても見つけやすいのです。

5



救急隊や緊急時など、扉を開けたときに発見しやすく、扉の内側にシールを貼っておきましょう。

～ 安心して住みつけられるよう地域住民の暮らしを支援します～
中大江西連合振興町会 中大江西地区まちづくり研究会

【カプセル用】

平成 年 月 日 作成

もしもの時の 家族住人票

所属する町会 _____ 町会 _____ 第 _____ 班

世帯主の名前 _____ 一緒に住んでいる人数 _____ 人

住 所 _____

電 話 番 号 _____

名 前	続 柄	性 別	生 年 月 日
ふりがな	世帯主(本人)	男女	明治 大正 昭和 平成
ふりがな		男女	明治 大正 昭和 平成
ふりがな		男女	明治 大正 昭和 平成
ふりがな		男女	明治 大正 昭和 平成

緊 急 連 絡 先	名 前	電 話 番 号
①		番
②		番

「もしもの時」に備えよう!
「命のカプセル」をご存知ですか?

家族住人票や医療情報の用紙に緊急連絡先や持病などの情報を記入してカプセルに入れ、冷蔵庫に入れて保管します。
中大江西地区まちづくり研究会では各町会と連携し、中央消防署の協力を得て、「命のカプセル」運動を進めていくことになりました。

説明会を開催します!
6月11日(土曜日)午後5時 中大江放下センター
説明会参加者には「命のカプセル」一式を無料でお配りします!
午後5時30分から「まちづくり建設ガイドライン」の説明会、午後6時から「まちづくり研究会報告」を引き続き開催します。
お気軽にご参加ください!



もしもの時の 命のカプセル



提出用封筒

(3) 防犯など日常の暮らしの安全と安心を守る取組み

通学時の子どもの見守り活動など、日常の暮らしの安全を守る取組みを地域、学校、PTAの連携を強化して進めます。

4) まちづくり目標を実現する持続可能な組織体制を築きます。

(1) 運営体制の強化

「建設部会」、「高齢者等見守部会」、「防災部会」に加え、「イベント企画部会」を立ち上げ、まちづくり行動計画を実現するための運営体制を強化します。また、中長期の課題や広く住民合意が必要な案件への対応に向けた調査研究の進め方を検討します。

中大江西地区まちづくり研究会 総会(毎年)

- * 前年度の活動を報告し、次年度のおおよその活動を決める会議。通常総会は、毎年6月頃開催します。
- * みんなが集まって活動をチェックし、あらためて、つぎを考える場です。



定期総会

役員会(毎月)

- * 毎月の定例役員会。前回役員会以降の活動を報告し、その後の活動を具体的に企画します。
- * 参加自由です。お気軽にお声がけください。



役員会

建設部会

- * 地域内の建設行為を把握し、適切な環境整備とコミュニティ形成をサポートします。
- * 建築士などの専門知識のあるメンバーと各町会長が中心に活動しています。



建設部会設立に向けたワークショップ

高齢者等見守部会

- * 命のカプセル、家族住人票などの周知、運用、管理を中心に、いざという時にサポートが必要な方を地域全体で支えあう取組みを進めています。
- * 各町会長が中心に、マンションの管理人さんやご近所でお世話をされている方などの協力のもと活動しています。



高齢者等見守部会に向けたワークショップ

防災部会

- * 中大江西地区は、夜は住民が多いものの、昼間は働いている人の方が多い地域。
- * 事業者の協力のもと災害に備えた自助意識の周知徹底、帰宅困難者も含めた避難のあり方などを話しあい、避難所での訓練など実践的な取組みにつなげようと活動を進めています。

イベント企画部会

- * 平成24年10月現在未発足。今後の課題です。

(2) 中大江小学校下での連携強化

中大江校下の3連合の連携を進め、一体的なまちづくりをめざします。

中大江西地区まちづくり構想

住人も元気！ 会社も元気！ 歴史と文化のまち中大江

作成・発行 中大江西地区まちづくり研究会

編集協力 街角企画株式会社

発行年月 平成 24 年 10 月（2012 年）

お問い合わせ 中大江校下センター

（中大江公園内／糸屋町 2-2-16／ 06-6910-7986）

*** 本文・写真などの無断転載・複製はご遠慮ください ***

